

津

福島は語る・第二章

島

帰ることが叶わなくとも

わたしの故郷はたしかに“ここ”にある



土井敏邦 監督作品 doi-toshikuni.net/j/tsushima

監督・撮影・編集・製作：土井敏邦／整音：藤口諒太／音楽：李政美（歌・作曲）・武藤類子（作詞）／写真提供：森住 卓／宣伝デザイン：野田雅也・尾虎弘一
ウェブ広報：ハディ・ハーニ／配給協力・宣伝：リガード ドキュメンタリー 2023／日本／187分／DCP © 2023 DOI Toshikuni

帰還困難区域に指定された故郷・津島
総勢18名、3時間を超える圧巻のオーラル・ヒストリー

100年は帰れない 故郷の姿を100年先につなぐ 災禍の時代を共に生きる 私たちに託された証言ドキュメンタリー



第一章

記録

今野義人



第二章

開拓

関場健治／三瓶宝次
志田昭治／馬場績



第三章

共同体

石井ひろみ／今野千代
須藤カノ



第四章

伝統文化

今野秀則



第五章

家族喪失

三瓶春江／武藤晴男
佐々木やす子



第六章

子どもの傷

柴田明美／明範
須藤カノ／隼人／玲



第七章

棄民

今野秀則／末永一郎



第八章

故郷

馬場績



最終章

帰郷

紺野宏

浪江町津島は福島県の東部、阿武隈山系の山々に囲まれた人口約1400人の平穏な山村でした。福島第一原発から北西に30キロも離れているにもかかわらず、2011年3月11日の事故直後に大量の放射性物質が降り注ぎ、「帰還困難区域」に指定されたまま、現在も多くの住民が帰れずにいます。

故郷を離れ10年以上を経た今も、人々の心の中には津島での日々がありました。貧しかった開拓時代の記憶、地域コミュニティと共にあった暮らし、綿々と受け継がれてきた伝統文化、今は亡き家族との思い出…。

100年は帰れないと言われた故郷・津島の歴史と、そこで生きてきた人々の記憶と感情を映像化したのは、『福島は語る』（2018年）の土井敏邦監督。裁判記録「ふるさとを返せ 津島原発 原告意見陳述集」に記された住民たちの言葉に衝撃を受けた土井監督は、「この声を映像で記録したい」と原告の元を訪ね歩き、10ヶ月にわたるインタビューを敢行しました。

総勢18名による、全9章、3時間を超える圧巻の語りの数々。その聞き手となるのは、災禍の時代を共に生きる私たち一人ひとりです。



doi-toshikuni.net/j/tsushima/



toshikunidoi.documentary.info



@infodoi

東日本大震災の風化を防ぐプログラム2025「福島の声を聞く」



2026年3月28日（土）午後1時30分より チケット1000円



東京YWCA会館カフマンホール 東京都千代田区神田駿河台1-8-11
主催 公益財団法人東京YWCA 電話 03-3293-5436